

七 X 442

2869

460  
1381

佛國  
百年祭  
萬國大博覽會  
記

版權所有

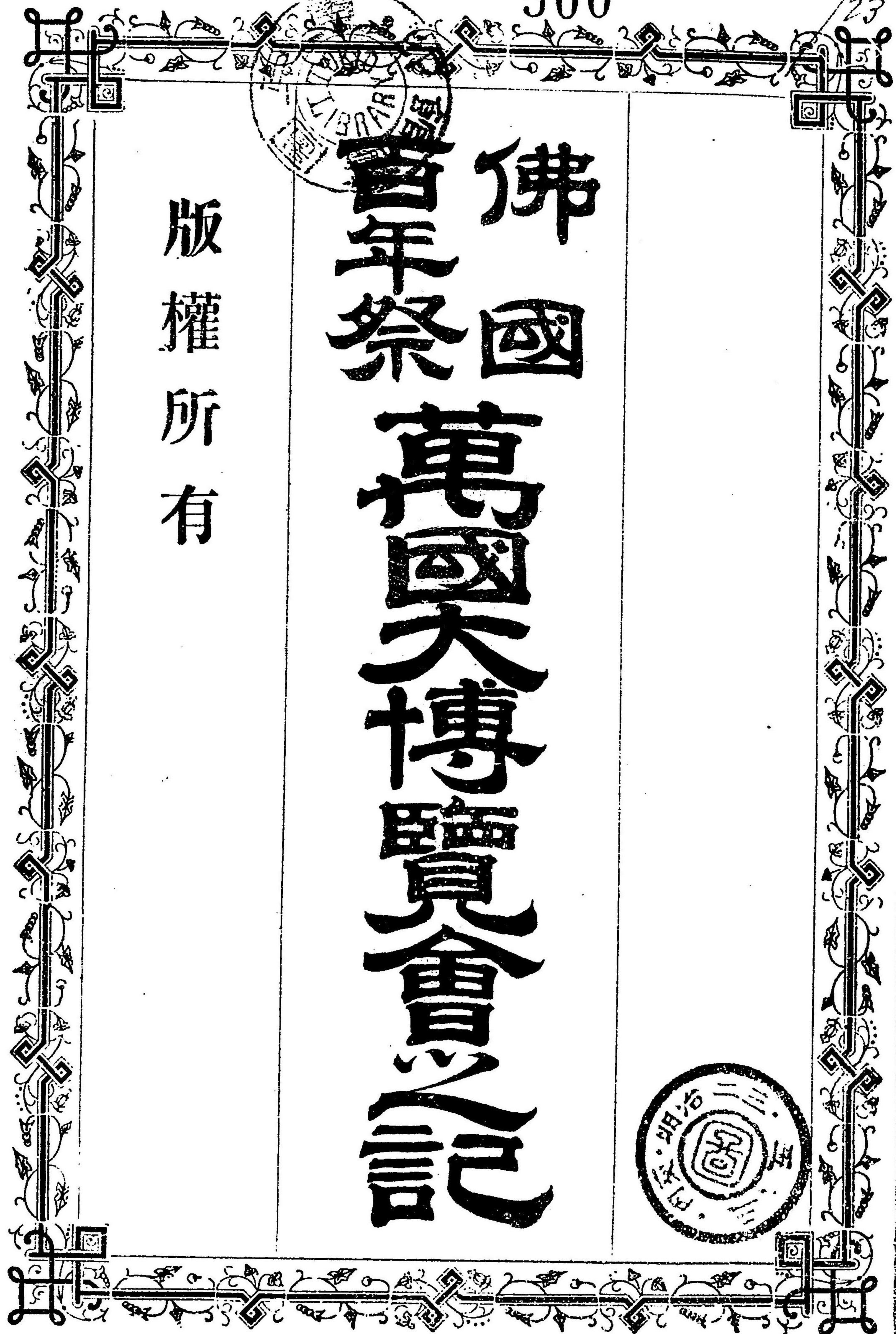
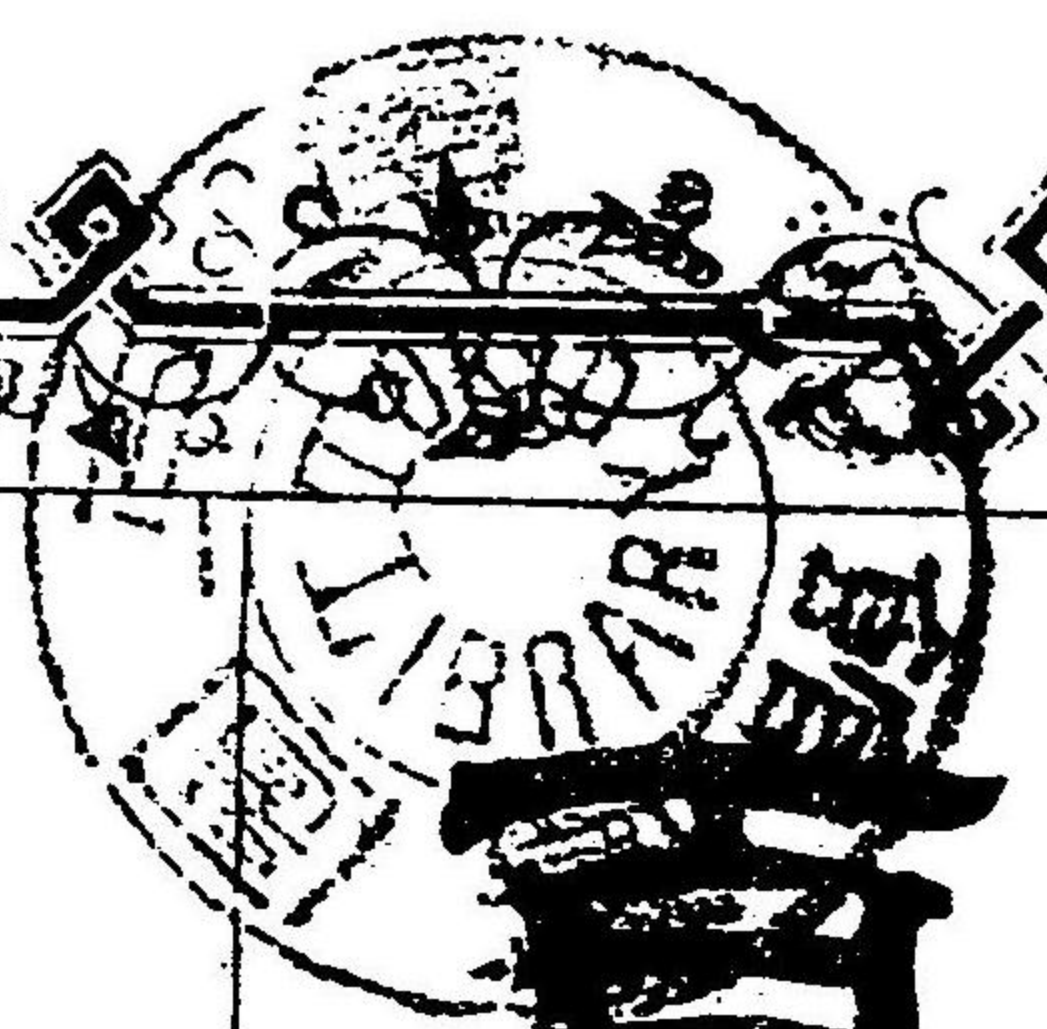


特 29  
500

N<sup>o</sup> 3236  
23

佛 國  
萬 國 大 博 覽 會 記

版 權 所 有





自序

凡物分子密則硬。金鐵是也。分子粗則脆。糞土是也。民之於國。亦分子耳。未有民貧弱。而其國富強者也。西之隆。東之廢。可以鑑焉。法人以闔國之力。抗全歐之精銳。戰則勝。攻則取。遂至使其所尚信之道。光被諸宇內。雖謂因勃那巴氏雄才大畧爲之驅駕也。非民力充實有贏焉能如此哉。故兵破而國勢益熾。帝亡而民力益張。金城鐵壁。依然不改其舊物。假使東洋諸國處之。則將土崩瓦解。覆滅之不暇矣。去歲法國開萬國大博覽會於巴黎府。百貨雲簇星羅。稱爲無前之盛觀。蓋識其百年紀也。而我國亦參列有光焉。嗚呼。泔吳之志。日積月蓄而未發。猶綽々<sub>二</sub>有餘裕如斯。豈可勝感嘆乎哉。



雖然分子之固結。飽熱銷鑠。則金鐵與糞土何撰焉。人民之自由。隨世陵夷。則富强亦或變貧弱。猶觀羅馬末路歟。余未識法國之前途果何似也。

明治庚寅之春

譯者識

白塞宮の百年祭典

今を距ること一百年す。あはち西曆一千七百八十九年五月五日に開きにし。いとも名高き國會の記念祭典舉行の場所ハ白塞宮にぞ定まりぬ。偕もその當日になりぬれば。年千八百八十九年五月五日。幾千万とも限りなき内外國の士女老弱斯日の盛典を見ん者と。午前九時ころより聖拉撒爾や蒙巴那西あどの停車場に雲霞のごとく推乏寄せたり兼て鐵道局にも其用意をやまたりけん。十分毎に別仕立の瀛車を發し式場指して送りける。

榮利日殿前の景況

大統領の出場の正午の預定と聞こえける。其時刻にもなりぬれば。數萬の觀客我先にと榮利日殿の前面さして寄り集ふ。警部馬忽氏第八區の警吏を指揮し警戒怠りなかりける。十一時四十分頃にもなりぬれば。大統領の四輪車四匹立の駿馬に駕し二人の御者之お屬し榮利日殿の中庭お扣えたり。此日の御者の服装ハ定式通りの出立にて青衣黃袴長靴。



を穿ち革帽を被り左腕に銀牌打たる三色章の腕飾をぞ帯びたりける  
又馬車の後方への徒歩の家僕扣へたり之に續きて諸長官の馬車列を  
亂さず駢び居ぬ程あく正午になりぬれば喇叭の合圖鳴ると齊しく騎  
兵の一隊一齊に劍を露して啓行す之に次て大統領の一行徐々と榮利  
日殿より繰り出ぬ最先に騎兵八名連發銃を携え進みたり大統領の  
前面に將官伯立牙氏左方への議長知拉兒氏驂乗せり折しもひとむ  
ら驟雨けをば馬車の窓戸の閉ぢられぬ大統領の馬車前面に來るとひ  
どしく觀客一度に(共和政府萬歲)と叫びたり之を見やりて加兒諾氏  
體を右窓に傾け數回答禮してぞ通り行く

大統領狙撃せらる

大統領の馬車聖敬街角を回ぐり摩利尼通りへ進まんとする此時早く  
彼時遅く一個の兇漢群衆の間より顯れ出で手疾く短銃取るよと見へ  
しが加兒諾目掛けて一發高く響かしたり不意をうたれてさしもの觀

客遽てふためき右往左往に逃げまどふ者あり我先に行兇者を執んも  
のと争ひ進む人もあり其混雜營々ん様もなかりけり之を聞くと齊し  
く警部馬忽氏宙を飛で馳せ來り續けて第二發を放射んとする短銃を  
手疾くもぎ取る此隙に警吏も追々馳せ集り怒り猛りて兇漢を引摺打  
擲する壯士をなだめ高手小手にぞ縛しめける護衛騎兵の大尉の大統  
領の安否如何と馬を飛べして來て見れば加兒諾氏の莞爾として車中  
に安坐し異口同音に(共和政府萬歲加兒諾萬歲)と喚ばれる群衆に對か  
ひ敬禮を表して居たりけるこそ芽出度けを夫より一行の駈歩にて  
摩利尼通りを指して一散に急ぎてころの馳り行く  
夫より警吏行兇者を引立行く道すがら簇り來る士女の面々(殺せ！殺  
せ！我々に渡し賜われ)と口々に呼わりながら杖傘の區別なく撃ちか  
より來る人々を漸くに支之障て進み行く重拉街の片隅に客待ちし  
て扣ねたる數千の馬車の其内より二輛手疾く借り來り二名の警吏兇



漢をうち乗せ他の一輛の報知のため中央本署を指して草駈天の如く馳せ去りぬ

楚囚纓其冠傳車送窮北鼎鑊廿如飴と文々山の述べらるるれどこれどの事變り胸に一物こくろつと引れ行く身の屠所は牛知るや知らずや數多の人士なほも悪くしどや思ひけん車窓目掛けて撃ちかゝる其勢ぞ凄しけれ斯くて本署に着きぬれば一室内にとち籠めて審問にかゝりけるに兇漢中々白狀せず只々烈敷知覺を激動まつれば申し上げかね候とて一言れ對えもなかりける爲方なければ警吏の人々衣類を委敷く検査め見れば唯だ一個の懷中物のみ残り居て貨幣の大方遣ひ果してありたりき熟々本人の體たらくを見ておれば額高く兩肩聳むて廣く眼光秀徹濃茶色の鬚髯長く生ひ茂り空色の大羅紗もて仕立てる揃いの衣袴を着け黒色の外套を被たるさま威ありて猛けからず見えにける

審問

斯て時間も程たちて行兇者の精神も平常に復しぬれば警部馬忽氏再び審問に予掛りける

警問 何故に足下の我共和國大統領に向ひ放火せしや委細承りた

兇答 夫の小生身上に起りし事件に付御注意を喚起せんが爲めと

聞届けられざる小生の訴願を貫徹せしめんが爲めとの出来心にて候也

警 足下の加兒諾氏を暗殺せんと欲するの心底なりしや

兇 否々小生の何人も殺すの存念の毛頭無御坐蠅虫に迄も非道の相働さ不申るの存念にて御坐候なり

警 足下加兒諾氏に對し前きの如き舉動ある以上の我佛國人民どの思われず抑も何國の産あるや



兇勃然色を起して答へけるハ 小生の眞成の佛民にて候なり善良なる佛民にて候なり小生の曾て第三蘇亞武隊に従事し國民たるの義務を奉じたり

警 兇

然らば足下の何を苦んで加兒諸氏に放火せしや其譯の追て分解明了わかに相成り申さん只今の何も申述べ間敷候なり

と言ひさしてまた語を繼ぎ口速くちやに申し述べけるウツリニヒリテ

先づ詳細つせらに小生の身の上話を述べ申さん小生の名を波蘭ペランと申し只今の海軍省の倉庫吏マガシユエに奉職致居候一年以前不圖せし事より非理アンジユスチスの裁決を蒙むり憤激遣る方あく幾度となく其筋に向ひ申明致候へ共姦佞の輩長上の聰明を壅塞いたし小生の狷介峭直なるを忌むの餘り遠く亞非利加の塞内岡州セチガルの谷奥に追放せんと欲するまでに立至り申し候抑も小生の哀訴

致候非理アンジユスチスの裁判と申候アンチルの前年安知爾諸島の一なる摩爾知尼島バルチニクに在住の節感ずる所の候ハしウバ該殖民地の某官に宛て少しく激烈なる意見書を呈出致し候ひき然るところ同地の太守虞羅典氏シロヂ大に怒り小生を罰するに十五日間の軍獄禁錮に處しぬ然るに小生の元と文吏なるが故に軍法處分を受くるを肯んぜず抗辯再三に及ぶところ十五日間の禁獄變じて六ヶ月の軍獄禁錮と相成り數多の憲兵突然來て小生の住居權を踏破フムツさし妻子四人の内末子のまだ乳離れもせぬ家累をもちし小生を執らえ情け容赦もあらばハころ遂に軍獄えぞ投じける此間小生の尙ほも屈せず抗辯致候へども人皆嘲笑して眷顧し呉るものぞてハ一人も無之候ひき（其後處々方々と流浪致し或フランドの法蘭西塞の雨に啣かち或バルチニクの摩爾知尼の月に嘯き或ギエヤースの牙伊安の風に傷み生きて甲斐なき吾身あがらも尙ほ



も精神振り起こし今一度公明正大の治下に出で青天白日の  
 身となりなんものと本國さして歸る海上如何ある過世の業  
 報にや無端く難風に出逢ひて荷物革包も残りなく海の藻屑  
 と消え失せぬ左候へバ只今の一錢の貯蓄もなく候へども少  
 しの手蔓を得て候へバ昨日當地に入り込みて今日の盛典を  
 幸ひお萬國公衆の注意を喚起せんものと心お一決し今日の  
 仕義に及びて候ひぬあなつゝの私の我妻我子やな今日この  
 ごろの如何に渡世ゆき居るやらん………  
 と言ひさして潸然と不覺の涙に呉れおける須らくありて氣を取り直  
 し片手おて雙の眼を打ち拂ひ語を繼で言ひけるい

(否ナ否ナ小生の加兒諾氏を殺し奉るの意の毛頭無之候小生は  
 携えし連發銃の藥筒の何よりの証據おて候やいざ疾くど  
 く検査めて御覽われ)

此時大佐陸天士典氏もまた入り來り諸共お審問をうなしたりぬ

足下の名を何と申し候や

行兇者の最初の程のどこふの答へも爲さざりしが馬氏曰けるは姓名  
 未詳の時の人皆其誰なるやをえらす旁々以て不都合おれば明瞭に名  
 乗るべしとて再び問ひ掛けられバ

小生の波蘭如安尼哥拉と申す者にて昨日より當地に参り拉  
 馬利奴街の和蘭館に投宿致居候妻の高乾酪街十一番地暮安  
 馬路に寄留致居り子供の三人にて長子の七歳次子の二歳三  
 子の一歳にて候小生の當年三十六歳にて舊毛塞流縣烏納連  
 の産に候あり

うくて馬氏の前に行兇者の演べし口供に據り沒收し置きし連發銃  
 を取り出し検査め見れば「ブリチス、コスマピユラ」の銘ある九條線の  
 短銃にて去る千八百八十二年吉報街にて購入したるもれありと白狀



に及びけり夫より馬氏の手づから内部の彈丸を驗査めんど装口を排  
 開きけれども堅く閉ぢて開放されば波蘭受けとり自身に發らきて差  
 出すをよく見れば言ひしに違はず七個の裝部中三個に藥筒に  
 彈丸あれども火藥なく他の三個の藥筒に白紙を填てゝざありたり  
 き他の一個の已に發火せしものにて殘留るの一個の筒儘のみ人々ア  
 ット聲を揚げ疑念も頓に消失せて波蘭の殺意なきこと始めて判然  
 したりける

斯くて審問も果てぬれば波蘭の吭内渴きて堪えがたしとて一杯の水  
 を請求しければ部屋之通して與へらる此時大佐陸氏の波蘭を近く招き  
 陸。左様あらば足下の三人の子息を遣し置きけるや  
 之を聞きて波蘭のさも嬉し氣に立ち上り

波。左様に候三人は子供を………  
 と言ひさして又陸氏にうち向かい

波

近頃御無禮ある申條に候へども内々御談申上度義の候御聞  
 入被下候や

陸氏うち和らぎたる面もちにて

陸

御安い御用何ありども申し開け被下度し

かくて陸氏の波蘭を伴もなひ警衛の官房え立ち歸り談話に移し  
 ける

却説も加兒諾氏の一行の此騒動の其間に摩利尼通りを駈けぬけて榮  
 利日野通りにさしかゝれば雨も歇みて見えぬれば馬車を開放してう  
 ち通るかゝる所に一個の騎兵の馬いかゞしたりけん物に駭き驀地に  
 駈け出すはづみ鞍つぼおたまり得ず眞倒まに堂と落ち強く負傷なし  
 たれば芳房場の藥局につれこみて療治をぞ受けさせける

巴黎より白塞に到る道中

巴黎より塞伯に到る道すから大統領の一行に向ひ共和政府萬歳の聲



引きも断れず聞えしに盛にもまた由々しけれ斯くて一行の一時頃には塞納河和瑞縣の境なる塞伯橋を越之行けを緑葉花枝もて造りたる凱旋門高く聳えたり二十一回の齊發祝砲雷轟電發する中に馬耳塞歌の樂の響き囀曉として面白し巴黎より午前の中に出張せし騎兵の一隊道路の左右に整列し消防隊の凱旋門を取り圍こみ之に接して知事義拉段氏塞伯市會の役員共出て迎へて予扣えたり又た橋のあなたに待ちかけたる老弱男女の其數の夥しくぞ見えたりけるやぶて大統領の一行到着にもなれば互ひに簡單なる一場の演説を交換し萬衆歡呼の聲中を横斷し白塞として前みゆく道すぶら見渡せば該市の停車場公園工業製造場など裝飾質素にして華奢あらず三色旗の色滿街に翩翩たり遮美爾に入り來れを町長平伯氏屬員をうちつれ出て迎ふ該所にてても亦簡單なる演説を交換しうれより美魯法列の迎員歡呼の間をうち通り白塞を距ること數百米突ばかりの鵝脚村に到

れの大尉賀蘭地氏の指揮に属せる砲工兵美事に實地作業を演して予ありたりき夫より白塞に入り來れを市長列平伯氏屬員吏員をうちつれ出で迎ふ大統領の此所より馬車を乗り換へ豊樂殿前の榮譽壇にぞ着にける

### 白塞の景况

演武場にて正裝の軍隊二列に整列し其一翼にて知事縣官市長町長扣えたり軍隊の後方には見物の士女花簇雲集其麗幾千萬なるを知らず薔薇形の切符を掛けし特別員の豐樂殿前の廣庭に着席ある之を脊にして紅白の線ひきたる大旆一旒纏えり是を大統領諸長官の着場にて美麗の椅子駢列びたり

午后二時大統領入場を合圖に廿一回齊發の砲聲天地に轟くと同時に諸寺の鐘聲八方より起り大鼓喇叭の響鳴り渡りて予聞えける夫より大統領徐々くと壇前に進めば第一工兵隊の樂隊馬塞歌を奏す此時



演武場諸兵の運動の見事あること言はん方なし夫より知事義拉段氏起て合圖の記號を爲すよと見えしが前面に掛け置きたる幔幕一度に脱落て左のごとき文字を彫刻りたる記念標こそ顯出れたり

此地の一千七百八十九年五月五日國會を開設し尋で六月廿日國民會に組織し同年十月十日にまで會議を繼續しぬる場所なり

Ici les Etats-Généraux se sont réunis le 5 mai 1789, et, constitués en Assemblée nationale le 20 juin suivant ont tenu leur séance jusqu'au 15 octobre.

夫より市長列平伯氏議長知拉兒氏一場の辨論をぞ演べられける

### 分列式

斯くて二氏の演説も終りぬれば白塞軍の司令將官巴日士氏參謀官を從ぶへ騎馬にて來り大統領に一禮を述べ夫より引返して分列式の號令を諸隊に傳えらる最先に進み來るの百科學校隊之に次て白塞學校

隊士官學校隊次て來るの工兵第一聯隊獵歩兵二大隊步兵戰隊二大隊、之に續て砲兵第十一聯隊輜重兵一大隊士官學校騎兵隊獵騎兵二聯隊、最後にの重騎兵速歩にて進きたり諸隊の過ぐる毎に數萬の群衆官民の區別なく拍手喝采の聲暫時の鳴も止まざりけり程おく式も終りぬれば大統領の復た知拉兒伯立牙の二氏を携へ四輪車に駕し演武場諸隊の中央より城中さして打通れの諸官の面々の徒歩にて隨行せられける

### 水晶宮

百年祭の公式の水晶宮にて執り行ゆるたゞさへ華麗壯嚴を極めし結構あるか上に今日を晴れの粧飾を加えぬれば錦上錦を尙へ壁中壁を鏤め其雄美なる申すも中々おろかなり兩側にの椅子を三列にうち駢へ衆賓の着席と定めらる中にも赤色の天鵝絨もて飾りたる肱掛椅子十三組あらびたるは是より我大統領及諸長官の着坐と知られたり花



冠高帽參觀の士文のはや既に廊下の四方に充ち満ちたり  
程なく時間にもありければ軍事院の幕中より馬耳塞歌の樂囀院とし  
て響き渡ればさしにもに廣き宮殿に溢るゝ計りの群衆も一度に寂りと  
静まりて心耳を澄まして扣えたり  
時分によしと路易十五世王の舊殿に扣えたる大統領及諸長官の係り  
官の案内につれ徐づくと宮中さして入り來れば萬衆一齊に起立な  
し(共和政府萬歳……加兒諾萬歳……)とぞ唱えたり程なく音樂も撤し  
ぬれば加兒諾氏の徐ろに起立あし袖中より祝文を取り出し高らかに  
朗讀をす始とめけり

諸君今日予が共和政府の一等官として自主自由國光兵力隆  
盛なる佛國民の代表者と先王の營築せられし此宮殿中に相  
見るの榮を得るの深く感銘に堪へざる所にして一にの厚く  
我祖先の恩賢を謝し一にの將來に對して熱望を屬せざるを

得ざるあり

我輩が現在享有するのみならず將に傳えて永く我後裔に貽  
さんとする所の貴重ある幸福の皆我祖先たる一千七百八十  
九年の義士輩が粉骨盡瘁心力を竭くし身財を抛ち我輩の爲  
めに獲取せられたものおろある然らば則ち我輩が此盛典に臨  
み第一に腦裏に憶起すべきの此不朽ある義士輩の功德にあ  
らさして何ぞや嗚呼此人々の佛國及び人間社會に效しぬる  
功績の偉大なるを想ふば我輩及子孫が如何に感戴報效する  
も決して能く之に對して愧ること無きを得ざるあり

佛國革命の種子を含有せる正義平等獨立等の主義の素と哲  
理學者の主唱せられしものなるを我祖先の一意遵奉し之を  
以て社會の基礎となし之に依りて新天地を開創せんとの雄  
壯偉大なる職に當られたる者なり



我祖先の一黨の專有に屬せずして凡て佛蘭西人たる者の悉く其澤に霑ふことを得べき此貴重なる權利自由を後世に遺さんぶ爲めに櫛風沐雨幾多の艱難障礙を排除し遂に之をして今日開明世界に普及せしめたるの其功績其勳勞豈に偉且つ大おらずや

百七十五年以來中絶しぬる三民議會の千七百八十九年五月五日を以て此地に招集せられたるの素と政府の財政を補助せえめんが爲めありしが國民が特殊の職任を以て此議會に委嘱せたるより貴族僧侶等無謀の抵抗を試み之が爲めに善良なる國王の念慮も先見ある賢相の設計も其効なく百般の改革案悉く畫餅に屬し革命亂の機をして此時に熟せえめたり

三民議會の徵集せらるゝや其議員たる國民の代表者の舊名を改めて國民議會と稱え權利自由の保障たる憲法を興へずんば誓て退散せざるべしと公言えたるに由り世人の革命の機此時に發えたるを知れり

此際議事の綱領の國民自ら之を作り彼の六百萬の選舉人が可決せる請願録に明記せり其文辭の莊重温雅なる却て其精神の高尙なるを表し又他日共和政府の目標となりたる自由平等友愛てふの言を掲げ以て佛國人民が州の區分あるに拘らず其性情と識見とに至りての能く相一致和合したることとを顯せり

故に當時世人之既に唱えて曰く我佛國に之既に州なし唯だ國あるのみと

惟ふに八十九年の主義たる古佛蘭西の土地を分割せる案柵を排除し又た不便不正の特權を廢止して強盛和合外の外國



の崇敬を受け内ハ快活の自由に浴する國民を造る事、公平不偏の權利を此國民に與ふる事、民選議院の監督を受け公衆の名を以て施行する代議政を設立する事、各人をして法律に對し平等の權を有せしむる事、身体安固の權を定むる事、宗教及政治に關する言論の自由を護る事、凡て封建壓抑の痕跡を消滅せしむる事等にして先きに請願録に存し後に人權布告に整備せるものは是なり、我祖先が此等事業の絶大なるにも屈撓せず最も怖るべき障礙にも挫折せず以て能く遂に其効を奏したるの熱心の實に感佩に堪へざる也

佛蘭西の舊來の陋習を破るが爲めに非常の苦戰を支へ之が爲めに各黨更に悲むべき極端に奔逸したるの逆境に沈淪したることも無きにあらずと雖も未だ曾て最初八十九年の時人が示定せる針路を違ふことなく「レノストラチーブ」と云ひ「コ

ングハンション」と云ひ皆進行上の次舎驛程に外ならず又立憲黨と云ひ及倫黨と云ひ山岳黨と云ひ皆幾多の風霜を経て漸く竣工し今日始て凡ての佛人を其說其黨の別なく同様に之を保庇するに至りたる大廈の建築師に異ならざるなり然則ち人民の法律に對する平等權、兒子の遺産に對する平等權、特權の廢止、各人文武任官の權、作業の自由、租税の均賦、思想の獨立、教論の自由、人民主權等の事を百年前我國の制度に銘記したるの人々の我輩各固が一樣に其恩誼を感戴せざるべからざる者あり

今日黽勉ある農夫が耕地の所有權を侵さるゝこと無くして衣食を供給し商工が組合規則の煩苛を脱して殷富を増加し學士藝人が光彩を添へ武夫兵卒が禍亂に備え凡そ此土に生れ此土に長ずる者の遠邇の別なく吉凶禍福に觸れて無限の



愛情を抱き不變の希望を繋ぐ所の我佛蘭西の此等先人の賜にあらずして何ぞや

我輩が茲に其曙光を祝する所の革命之千年以來の耕耘によりて蓄積し第十七世紀及第十八世紀の哲理學者が温暖を與へて培養したる種子を開花せしめたるあり

又此革命の歴史上に一新曆を創始し近時の社會を不動の基礎に立たしめ一世紀以來諸種の政体交もく起仆したるにも拘らず屹然八十九年の主義を執て渝らざる民主的佛國を造り出だせり

然り而して此民主政に必要な政府を設け人民をして其主權を施行せしむべき政体を與へ又作業と平和との最大要件たる保障を自由進歩に賦することの我祖先が我輩に譲りたるの任にして今日我輩が仰戴する所の共和政府の設立の即ち

一世紀前此地に於て着手したる不滅の事業の上棟式と謂ふべきなり又平等を熱望し自由を好愛する我佛國民が今日に至りて尙ほ其痛苦を感ずる所の經驗の後に於て達せざるべからざるの目的なり

然れば則ち一個人の擅制の名稱の如何に拘らず我佛國民の擯斥する所にして其仰ぎて君主とする所のもの、自己の代表者が完全なる獨立を以て議定せる法律のみ

諸君以上述ぶる所の即ち此一世紀間の事業百年間の政治運動思察經驗に依りて得たる結果あり

我名譽ある祖先が曾て始めて國民の希望を表出せる此所に於て我輩子孫が感戴の情を祖先に捧呈し併せて既往の事蹟を回想し前後百年の形勢を比較し我大佛蘭西が彼の八十九年に於て宇内を照明せる快活の主義に依りて今日まで粉骨



盡力したるの効果を觀察し畢きり  
 是より予の千八百八十九年の佛國人諸君、普通選舉によりて  
 法律制定の重任を委ねられたる代議士諸君、法律を適施之國  
 家の制度を遵奉せしめ衆庶の權利自由を鞏定せる事を職と  
 せらるゝ百官有司諸君、一意本分を嚴守之又かの國家強盛の  
 基たる規律を遵奉せらるゝ軍人諸君、革命の時に成りたる諸  
 大學校の親愛ある學生青年社會の精華たる諸君、思想信仰の  
 自由より生じて賑恤慈善を事とせらるゝ諸君、學士藝術家諸  
 君、千七百八十九年來精神を凝らし造り出せる精巧の物品を  
 明日我輩に示すべき各種工人諸君等の同意を得んと欲する  
 所のものあり諸君が愛國の誠情に富まるゝや必ず予と同感  
 ならんことを信す

我輩が今日の境遇の前段に稱揚せる人々の賜にして此人々

の貽したる模範のよそに則り彼等の事業を完成するは我輩の任な  
 り因て我輩の昔人の義俠を以て心とし姑息の情欲、黨派の軋  
 轢、學派の異同に拘泥して前途の大事を誤まらざらんことを  
 欲す

我輩の憲法に言へる共和政治の城壁に據りて平和好愛親睦  
 を旨とし以て力を養ひんと欲す蓋一國人民一致團結するど  
 きに能く之に抗するものありざるなり

我輩の凡て佛國人民たる者が自由の爲め國家の爲め一様に  
 公利を愛し親睦を旨とし以て我輩が茲に其百年祭を祝する  
 所の世紀を大成せんことを欲す是れ佛國をして能く長きへ  
 に萬國に冠たらしむるの道なり

茲に千七百八十九年の祖先の名譽と佛蘭西國及共和政府の  
 萬歳を祝す



此際時々喝采の聲四方より起り加兒諾氏の語聲も度々打消されぬばかりなり取り分け最後の數章に至りては萬衆一度に歡呼する聲暫時の鳴りも止まざりけり

次て元老院議長路魯華榮氏起て一場の演説を陳べらる其論旨之(何故に方今の人々の一千七百八十九年の祖先の恩賚を利用することの少きや)と云ふにあり之に續て代議院議長米利奴氏の演説あり其大意(國民何ぞ進取せざる革命の事業の百年以還毫も進歩せざるあり)と陳べ最後に白塞僧官の演説にて式を終りけり

### 祝宴

かくて式も終りぬれば大統領の戰陣館の祝宴に列せらる宴終れば一行園中を逍遙し海神池の開創式に臨觀ある暫くありて清泉一時に四方より飛揚奔注すれば池面の周圍に群れ集ひたる觀客拍手歡呼の聲園中に響き渡りてぞ聞えけり夫れより午後六時にもなりければ大

統領の一行は見送りの爲め整列せる諸兵の中央を打通り巴路華士街より聖克路通り指して歸えりぬれば道すべから祝聲歡呼の聲引きも断れず聞えけり

### 白塞の烟花

夕暮頃より白塞の街々に馬車行人肩摩轂擊其賑ひ一方ならず殊どに酒樓咖啡店の雜沓夥しく八時以後の如何程の大金を投ずるも麵包一片をだに買ひ得ることも難かりぬ九時頃より演武場にて打出す烟花の光り空にひいて暗夜も爲めに照り渡り偉觀かぎりあり折しも一陣の大雨俄然かに降りしきり沛然として車軸を流す勢あれば觀客一度に騒ぎ立ち右往左往に散亂し轉瞬間に四方の發車場人山を築き落花微塵の有様に見えしところを遺憾なれ

### 開館式朝の景况

昨日曜日の大雨のいとも烈しくありつれを巴黎のみならず萬國の觀



客に至るまで開館式の成り行き如何と氣遣ひ感ひてありけるに朝未明より一天霽れ渡り比々ひ稀れなる好天氣とありにけるころ芽出度けれ

然る程に巴黎の人々の男女老幼のけちめなく味爽より今日を晴れと著飾りて山あす観客の雑沓に紛れじと摩理士野に押し出すの用意をみあしたりける

満城雲に聳ゆる金殿玉樓の窓々ふの花氈を布きつらね國旗を交叉し裝飾美を盡し宛然繪圖を見るの心地せられぬ午前十一時ごろより數萬の観客摩理士野廢兵院土魯加德路などの大廣場さして次第くに簇り來り錐を立つべき餘地だも見えざりける塞納河ふの無數の船航溢ふるよむかりの見物を乗せ往來ひ織るぶごにてさしもに廣き河床も波の光りや埋むらん正午ごろにもなりけれむいでや共和國大統領の行列を見んものと榮利日宮の周圍にしき波を打て集ひ來る見物

人を難おく警部馬忽氏の指揮と警吏の周旋ふより見事に整頓させたりける

大統領の行列

午後一時十五分にかれバ雄々しく鎧ふたる騎兵の一家榮利日宮の前面に整列しぬ程なく十五分もたちて喇叭の合圖鳴るとひとしく大統領の鹵簿榮利日宮をぬり出しはじめ數萬の見物人大統領加兒諾氏の出て來るを見るどひとしく異口同音に萬歳と呼びて之を迎ふ大統領の側にハ議長知拉兒氏前面にハ大佐陸天士典氏居並びぬ其出立の優美ある言ハん方あく中にも赤毛の太く逞しき車馬綠衣白袴長靴を穿き銀甲を着たる御者などにハ一しは人目を驚かしぬ馬車の後方にハ二人の家僕居さらびたり之に續きて諸長官の馬車列を亂さず徐々ど打せたり最先にハ貳名の騎兵連發銃を携え摩理尼通り榮利日野指し進み行く此行列の通り行く兩側の士女樓上樓下街路の分ちあく共



和政府萬歳…加兒諾萬歳…と呼びわたりて其聲次第に遠さかり行く大統領の其度毎に帽子を手にし身体を左り右りにかたむけ車中より會釋しなぶら進みたり

大統領博覽會場に到着す

二時の頃はひ行列伊埃那橋に近づけば宛然がら生垣のごとに打列んだる兵士一齊に捧銃の禮を表し之と同時に祝砲連發の響き天地に震動し其すざまじき言はん方なし又道の右傍に樂隊馬耳塞歌を吹奏す其音悲壯にして人々感奮の色面に顯れたり夫より行列の先に世界第一の名を博したる銳發兒高塔の下を過ぎ技術館の前庭を右手にわて進み行けばや一時とろより會場へと闖入し來れる無数の群衆道すがら垣なす兵士の後邊より熱心に祝意を表するを打見やりつゝ大統領の一々之に答禮して行行き過ぐる

廿一回齊發祝砲の響まだ斷えざる其内にはや大統領の會館中央圓堂

の前庭に到着しぬ是に於て同氏の諸隊の觀兵式を受けくるに安南隊、亞及隊、塞内岡隊あど一とし得人目を悦ばしめたり就中安南隊の衣冠奇異美麗にして運動も亦極めて見事ありたりき式終れば博覽會總裁の諸屬官を卒ひ大統領及諸長官を迎かえ光榮門より中央圓堂の大廣間へと請じ入れにける

中央圓堂の儀式

中央圓堂の開業式の儀場にしまれば裝飾供張の華麗なる言はん方もあし大統領及諸長官の着席の庭園の眺望よき方の玻璃障子を脊にあてて設けたり之に對して中央と覺しき所に名代者の椅子排列びたり貴婦人令嬢方の坐の第一階周圍の椽側に設け加兒諾夫人の其榮譽席に着坐ある之より程遠からぬ場所に外國婦人の一隊扣えたり雲想衣裳花想容春風拂檻露華濃なり孰れも劣らぬ出立ふて綺羅錦繡の光り蘭麝の馨り芳野龍田の花紅葉一度に見るの風情あり下段の席に各



國公使の面々綺羅星のふと居列いならびぬ其重立たる人々には日耳曼公使「レキーン」Schoen 伊太利公使「レスマン」Resmann 波斯公使「ナザル、アガ」Nazar-Agha 合衆國公使「マクラス」Mac-Lane 白耳義公使「ベイアン」Beys 英國公使館付一等秘書官「チースチンリー」Austin Lee 墨西哥公使「ラモン、バルナンテス」Ramon-Fernandez 大日本國公使田中君支那公使「チエン、キートン」Tcheng-ki-tong 塞比亞公使「グロイツ」Growth 共和國公使「アルメダ」Almeda 瑞典諾威士公使「レツエン、ハーン」Lewenhaupt 瑞西公使「ラルザイ」Lardy「ユリゲー」國公使「ディアーズ」Diaz「ヴェチヨラ」公使將官「ギョズマン、ブランコ」Guzman Blanco 羅馬尼公使「アレキサンドリ」Alex-sandri 等と見えたりける又四方の隅々には自國の衣裳を着したる遠客黄金もて飾りたる椅子にもたれ居並びたり其風体の異様なる又一ははのあがめせられぬ中おも黒奴の顔色其長衣ながぎの紅縁べにぎにうつろふ様亞拉比人の白き外套を着たる様支那、塞維亞、匈牙利人あとの縁細よこがなる帽

子を冠り白衣を着流したる様日本人の小賢こさかしくて氣のきつたる様「type intelligent et fin」其他埃及人、大洋洲人あとの奇態異様なる恰も一幅畫圖の趣味にて孰れも瞠若として殿堂の莊嚴華麗あるに感じ入り聲をも出し得ずて圓堂の上下四方を見廻して居たりける

### 開業式

程なく大統領加兒諾氏徐ゆる々々と圓堂に入り來れば典樂者馬耳塞歌を吹奏すると同時に參會人一齊に起立し（共和政府萬歲）の聲堂中に響き渡りぬ尋で定式の演説にぞ移りける

### 知拉兒氏の演説

知拉兒氏の演説は長々々く引き續きたれども重大なる事件に於て論及及びざりき先づ冒頭に新に開きし萬國博覽會の最初如何いかにの憂慮アップレヘンションなきにあらざりなれども該の義の疾くに消え失せて只今の工藝勞力の大勝利を得たるの旨趣むねを演べられたり尋で語を繼で曰えらく世



人動もすれば反對論者の駁撃を信仰玄皮相上より輕忽おも我佛國の變亂騷擾軌轍の淵叢とあり一も好成績の誇るに足るものなしと考定するの徒衆し是誤れるの太甚きものおして斯のめでたき博覽會の其ひがごとたるの好例證なりと論じ夫より歩を進すめて政治上に説き及び(我佛蘭西之自由國なり何人の暴政も受くる所にあらず)と論ぎ終に臨んで説て曰えらく

我佛蘭西國民の千里をも遠しとせず我都城に集こひ來ませる外賓を歡待厚遇せらるべきの勿論我共和政府の愛敬寛宏にして各國の工藝技術家を尊び重んずること一家人のごとく露ばかりも妬み忌むの心なく相共に世運の上進宇内れ平和を翼賛するの意を知らえめんことをのぞむ

大統領加兒諾氏の演説

次て大統領の徐ろに説き起して曰く

諸君我佛蘭西の昨日を以て歴史上に新紀元を開きぬる一世紀の曙光を拜し畢りき今日の諸君と共に艱難辛苦の間に進歩し來りつる斯世紀の實業を其光華明彩天に中するの下に仰ぐも亦樂しからずや

夫より百年このかた學術工藝の進歩あし來りたるの(往古の惡弊障礙を芟除せよ結果)あるを論じ尙ほ説きて曰ひける

諸君我佛國の招待を空くせず遠近親疎の隔てなく惠然子來斯盛典を共賛し四海兄弟の好意を表せられたるを以て斯博覽會も益至大極隆の光榮を發揚するを得たり敬て謝す

會場の巡覽

大統領の演説終れば數度共和政府万歳の聲堂内に響き渡り音樂の調べ洋々として起り梁塵を舞ひ去行雲を止どむるてふの昔語もかくやとこころの思われけるやがて二時半頃にもなりぬれば大統領の亞范



度氏の案内につれ、數多の將官、議官、代議士を従がへ、圓堂に連接ける館内へ移り來りぬ。是を見やりて、工藝品陳列館の内に扣へたる觀客の氏に向ひ熱心に其禮意を予表しける。

出品委員の面々の各々其扣場の前に整列す。大統領の右側にろふて通覽あり行く。黙禮して予打通る夫より第四十一部の鑛業展覽場に到れば、稍や暫らく立ち駐りて熟覽ある。此室の裝飾の悉皆道具機械にて見事に組立たりける。一又は興あることにぞ見之にける。

警官の號令も最初の程の行き届きて見えけるが次第に各室の入口に雲霞の如く込み入り來る觀客をさしもの警官支え兼ね異口同音に「加兒諾萬歲」と呼ばれる聲と諸共に人波打て大統領の通路をさしてなだを掛りし予おかしけれ。

夫より機械館の入口に近き來れば、幾千萬とも數知れざる群衆。大統領の後より館内へ押入らんと渦卷き來れる其形勢すさまじくも又面白

し。夫より大統領の機械館の階段へと攀ぢ登れば、又もや混雜一層の熱度を増し右往左往におしあいへしあいする間隙に一個の兇漢之を機會に將官の隱袋をさぐるよと見えけるが護衛の警官目疾く見咎め引執らえ會場特派の警衛えころの拘引なしたりける。

夫より白耳義英吉利の精緻器械出品場に入り來れば、職工の轉回橋上に整列し國旗を振り靡うして敬禮を表しぬれば、大統領の之に答禮して予通り行く程、武爾頓通りの棟に近ければ、茲より下段の間に降り來て機械館の中央より通覽あり。れより直角に回旋して二等館を通り技術殿え予向ひける。尋で合衆國の部に移り來れば、之を守れる米兵一分隊ばかり捧銃の禮を以て敬禮す。夫れより日本の部に於ては、大統領取締官に向ひ陳列品の見事にしてよく整頓せるを祝しぬ。塞比亞の部にては、總領事義伯士氏と握手の禮を爲し、夫より智利、尼加拉、賀墨西哥等の家屋を建て列らぬ庭園を通りぬけ中央の廣庭に到り散美太兒



氏の發明に掛る標柱泉や光明泉を熟覽あり未曾有の高塔建築者  
 鏡發兒氏及其工夫の奇工を祝し畢つて美術館之入り來れば典樂者馬  
 耳塞歌を吹奏すると同時に係り官一齊に之を迎えらる夫より露英白  
 蘭埃噠佛等の名画を通覽ありて復た馬車に打ち乗り廢兵院之不趨き  
 ける此院内に印度支那の寺院亞爾及の宮殿等を摸造し最と面白き  
 見物にて中にも亞爾及埃覽諸州の出品のよく整備ありつれば一行の  
 人々孰れも感賞なしたりき突尼士東京の分の漸く配備に着手せし計  
 りにて是等と言ふべき見物なし中央の属地館之孰れも珍奇の物品夥  
 多おして人々の目を悦むしぬ程かく五時半おもなり一行の巡覽もす  
 みつれば大統領之以前の如く馬車に駕し騎兵の護衛を従ふへ伊埃那  
 橋をうち渡り蒙底紐摩理尼通り榮利日宮指して歸られける其通行の  
 路すがら祝聲歡呼引きも斷れず聞えぬるころ勇しかりける次第なり

博覽會の初日

博覽會初日の觀客をとり別其數夥しくありたれば其収入の巨額あり  
 しことい申すも中々おろかなり午前一時ころより諸方の入口をば見  
 物人雲霞の如く取りかこみ特お阿爾塞通りの入口之廢兵院に近接け  
 れの雜沓も亦おあこだし該院内にの属地諸州の建築を摸造しあれば  
 新規を好む人心何國も同じことと見え吸集力も取り分け強盛に見え  
 にける次お觀客を悦ばせし第一蘇亞武隊の軍樂にて綠衣を襲ひ土  
 耳古の徽章新月を着け笛大鼓など取り雜じえ奏づる様珍しくも又新  
 らしく喝采の聲斷えざりき瓜哇の出品も亦諸人の注目を惹きけるが  
 亞爾及塞内岡極東等属地より來れる兵士の應對不明了として冷評  
 を受けにけるころ是非なけき  
 夫より觀客の足を駐どめし陸軍省の出品にて戰時の出立きたる砲  
 兵大小諸種の新砲を排列べ威風凜然と扣ねしあたり眩目く見之に  
 ける農品館の見物も畢りぬれば觀客の德高比兒の輕便鐵道に打ち乗



り食品館へと向ひける該の館の見物の其入口に据え置きたる大樽にて容量の千六百ヘクトリットルとぞ聞えける次の館之打撃機械の陳列場にて殊に見榮えある場所ありき勃士奇通りの橋に近けば裝飾の旗充滿ちて風に靡ける様美しくも又見ごとにて畫に見る心地をせられける夫より橋へと登り行けば行けども盡きぬ階段に觀客愚痴おぞこぼしけり摩理士野に来て見れば大統領の通行とて見物兩側に充滿し進みも得ならで扣えける建築館に古今家屋の構造を目前に現にして歴史以前の結構の脆くかよわき仕組みあり嘉樹芳草を植ゑ雜之玉を碎ける泉水生ける人かど見迷ふばかりの彫像の彼方此方に立ち列べる園中を往きかふ士女の群團に庭の芝生も蹂躪られん有様なり美術館や技藝館の周邊にの數多の割烹店建ち列び酒池肉林の繁盛も來客いやが上に重なりて一間の席一個の椅子手に入ることだに難かりぬ製造館や機械館新發明の大小器具所狭きまで打ち列べ靈妙不思

議の人力お目を駭かす計りなり中おも海軍省の出品の軍艦機械水雷船新案奇構千種萬態一々枚擧に暇なし摩理士野の片隅に改羅の狭き街をしつらゑ埃及家屋の風体を模寫し駱駝の隊商粗造の列車其他若干の細工物を出したり殊に觀客の笑を留めし淡泊粗笨の繪畫にころありたりき南米諸州の部に就きて諸人の注目を惹きけるの伯拉西及び亞然丁の出品なり中にも亞然丁州の兵隊戰時の戎裝にてひかえし勇しくこそ見えたりけり夫より園藝場に入り來れば珍花異草を播種なし巧に生育したる様見事にも又床しけれ特に日本の盆栽の諸人の嘆賞を博えけるが品少く遺憾あり

#### 巴黎の景況

佛國の數多の黨派に分裂しあれば一方に喜べば他方に憂ひ甲怒れば乙笑ふ這般の博覽會も共和黨政府の記念より起れるものおしあそば王政黨其他之に反對するの種族の少く冷淡の色見えにけるころ道



理おれ左のさりあがら當日のたゞさる雄美壯麗世界第一と稱えらる  
 巴黎城雲に聳ゆる瑤臺玉閣の窓戸に花麩を展べ國旗を繰へし綠環  
 をかさり玄光景畫にも言葉にも得やの盡せし花を欺く貴女の靚粧時様を  
 競ふ紳士の風標駟馬に鞭うつ豪客おれに輕肥お誇る公子あり家々杯  
 を擧げ町々宴を張り羅襦寶帶爲君解燕歌趙舞爲君催取り分け潤澤を  
 獲しもの酒樓咖啡店職人社會おて五人一家の職工細小き摸型もて  
 銳發兒塔を造り賣捌き玄かハ數日立たぬ其内に千貳百フランクを獲  
 老とりや然りなぶら反對黨機關の新誌に斯日の景況をもて七月十  
 四日祭の二舞と冷評してふありたりき  
 午後にもおれハ觀客一度に我先にと博覽會を押し出せば滿城寂然と靜  
 まりぬ斜陽西山に没る暮靄蒼然塞納の水を籠れぬ烟花白尼士祭を觀  
 んものと河畔の樓臺ハ申すも更なり橋頭岸上人山を築き兩岸の建物  
 への瓦斯線を花把のごとに飾り付蹈舞場への白尼士灯燈を綱もて連

絡し宛然白晝かと誤またる聖美塞臺其他の街々より塞納河さして下  
 り來る群團引きも斷をす見えにけるされ共名にしおふ大廣場おしわ  
 れハ演技場の外はさして雜沓混亂の憂なかりけり

夜中の祝典及び烟花

烟花打揚の場所ハ路易非立橋と巴西橋との中間にて橋々おは目をゆ  
 きままでに裝飾を施し光輝玻璃燈を駢懸べ處々に彩色燈を花把に結  
 ひ付けぬ堤上に並樹の枝々に黃燈を一面に掛け連らぬ河上おは美  
 麗に粧ふたる數多の船舫紅燈を點し軍樂を奏して徘徊する様筆にも  
 言葉にも得やの寫せし

博覽會場の園中に點したる瓦斯燈ハ諸館の電燈と相映ひて又一しは  
 の眺望せられぬ銳發兒塔を見仰れば層毎に點じある電燈にて三百米  
 突の高塔もありくと中天に顯出きて光輝さながら巴黎滿城に射照  
 り渡りて予見えにける土魯加德路の園中宮殿への瓦斯燈を一線に點



列<sup>ら</sup>べ博覽會場より伊埃那橋まで連絡し隨處<sup>そこら</sup>に彩燈を集團あし花の形を現せし光景實に不夜城も如<sup>か</sup>斯<sup>か</sup>やどころの感想<sup>おも</sup>われける十時ころにかれバ新橋<sup>ポンニシ</sup>近傍<sup>チユウリ</sup>朱威利宮の廣場白鵝洲<sup>イルダンニユ</sup>の三ヶ所より更るく打出す花砲の響き大地に轟くと見るや光彩燦爛天に漲ぎり愈よ出て愈よ奇に其美麗<sup>うるは</sup>さ言はん方なく觀客喝采の聲烟花爆發の響き上下相應じ人耳も聳する計りなり博覽會場や土魯加德路園中の光明泉も亦一しはの見物にて一時過るころまで演じける又俄の思ひ立より此處<sup>かしこ</sup>彼處<sup>あそこ</sup>に踏舞場をしつらい士女老幼うちむれて花踊蝶舞の長夜の宴夜のふくるをも知らざりける實にや文華の焦點世界の首都てふ巴黎府に我劣らじと誇りおに競ひ出でたる諸國の精英宇内の壯觀一々あぐれば旬月ふても尙は足らじ況てや記者が兩日に宙を翔りて綴りたるたゞ數葉の巡覽記物足らずとな思ひ給ひり

式場毎に奏づる馬耳塞歌の革命亂の時の作にて其音悲壯激

烈聞く者感奮跳躍せざるあし今支那人王韜の譯せるものを記す

法國榮光自民著爰舉義旗宏建樹母號妻啼家不完淚盡詞窮何處訴吁王虐政猛於虎烏合爪牙廣招募豈能復親太平年四出搜羅因奸蠱奮勇興師一世豪報仇寶劍已離鞘進兵須結同心誓不勝損軀義並高維今暴風已四播辱王相繼民悲咤荒郊犬吠戰聲哀田野蒼涼城闕破惡物安能著眼中募兵來往同相佐禍流遠近惡貫盈罪參在上何從赦奮勇興師一世豪報仇寶劍已離鞘進兵須結同心誓不勝損軀義並高維王泰侈弗可說貪婪不足爲殘賊攬權怙勢谿壑張如納象驅入鼠穴驅使我民若牛馬瞻仰我王逾日月維人含靈齒髮儔詎可鞭笞日摧缺奮勇興師一世豪報仇寶劍已離鞘進兵須結同心誓不勝損軀義並高我民秉政貴自主相聯肢體結心誓脫身束縛在斯時奮發英靈振威武天下久已厭亂離詐欺相承徒自苦自主刀鋒正犀利安得智驅而術取奮勇興師一世豪報仇寶劍已離鞘進兵須結同心誓不



勝損軀義並高

却説かの大統領加兒諾氏に對し發火の不敬を働きし波蘭ある者の數日の審判を経るの後發狂人と認定せられ左程の罪咎もなくして事済みとなりしとかや

又該の萬國大博覽會の九月廿九日を以て褒賞授與式を舉行せしに審査會より特別賞九百三、金牌五千五百五十三、銀牌九千六百九十、銅牌九千三百廿三及び褒狀八千〇七十を授與せられたり中に就て本邦出品の分の各官省にて大賞九、金賞十八、銀賞三十八、銅賞十、褒狀七、廳府縣にて大賞二、金賞卅七、銀賞百五、銅賞百四十一、褒狀百十二其他協贊牌十七、經濟博覽會賞一越て十一月廿一日芽出度閉場式の舉行あり我大日本國公使田中子ナシタルの之を祝て佛國諸長官博覽會事務官等を巴黎府の大チーラルコンチ陸館に招待し饗宴の催あり當日席上には日章の國旗と佛の三色旗とを交叉し會食中の絶えず我國歌及び佛の國歌を奏し田中公使の祝辭及

當國外務長官の答辭ありていと盛なる宴會なりき又開場より閉館までの日數凡百八十九日入場人員の總計貳千八百拾貳万二千七十五人之を平均すれば毎一日の觀客拾四萬八千七百九十四人餘又この博覽會に要したる支出金四千壹百五拾万法にて収入金の四千九百五拾萬法差引八百萬法の實益なり如斯カ収入額の超過を以て完結せし獨り今回の万國大博覽會のみなりとぞ盛にもまた羨ましけれ



畫圖ハ仰山に流れ易く談話ハ誇大に移り易すし然ハ  
あれども一度び馬耳塞の月にたどり巴黎の花にあく  
がるゝ時ハその殷富雄麗にして人文品物の隆昌なる  
ことハ曩日に畫圖に目談話に耳きしものよりハ幾百  
千倍の感想ありとかや此原稿ハ佛人加兒段氏のもの  
せられて佛國公衆に報道せられし日記にて露バかり  
も文飾の語を雑えず唯た有のまゝに當日實事の一  
班を書き綴りあれば頗る隔靴搔癢の心地せられぬそハ  
恰猶神田祭の景況を都人士に報告けまいらすかど  
にて見慣れ聞きなれたる山鋒の意匠挽子の扮粧をこ  
とくしく録しぬとも何の見榮やあらん却て田舎漢



とや嘲けられなん

明治廿三年春三月

譯者誌

全 明治廿三年四月十二日印刷  
四月十七日出版

定價金貳拾錢

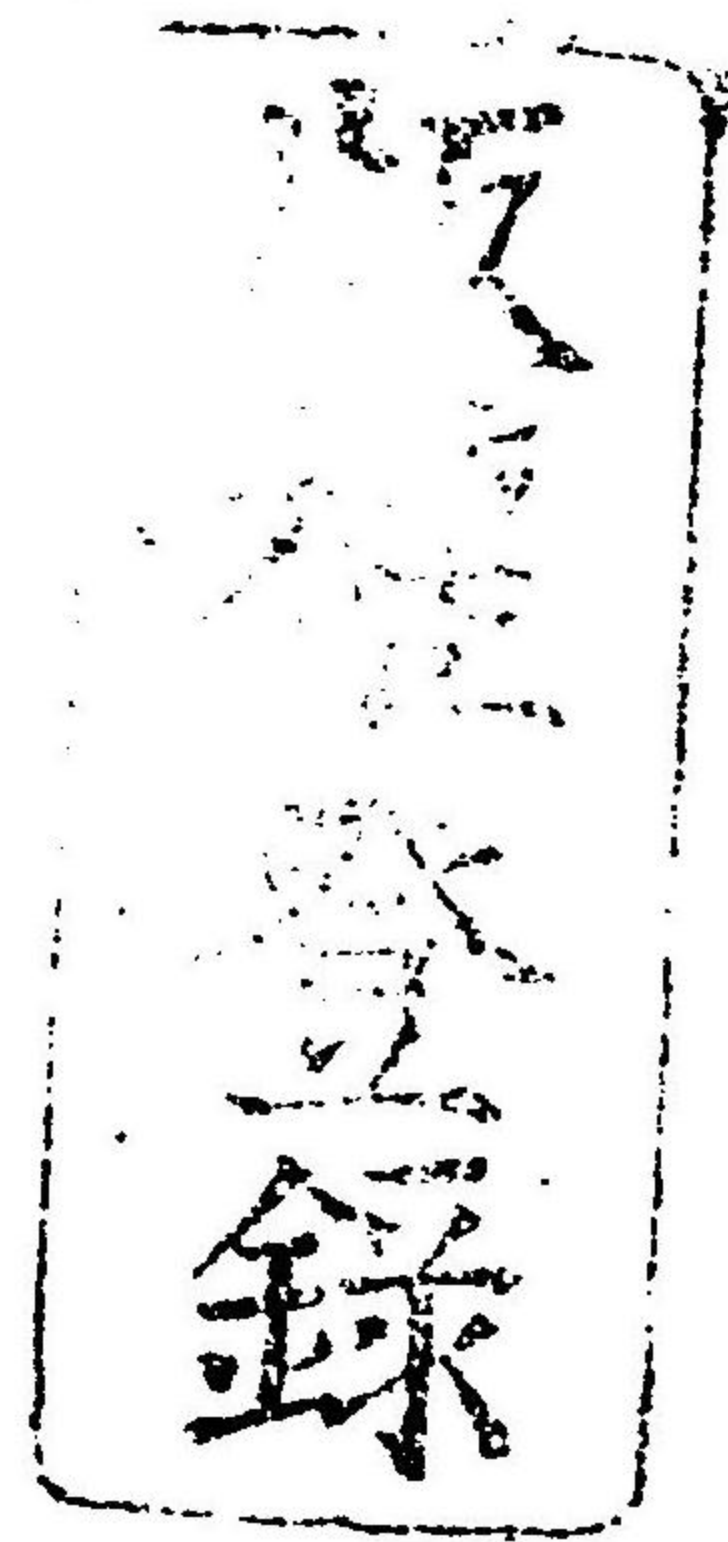
版權所有

編輯者兼  
發行 者

高知縣士族

宇賀

東京麹町區壹番町  
四十九番地寄留



印刷人

神奈川縣平民

村岡平吉

橫濱市太田町六丁目  
九十四番地

印刷所

製紙分社

橫濱市太田町六丁目  
九十四番地

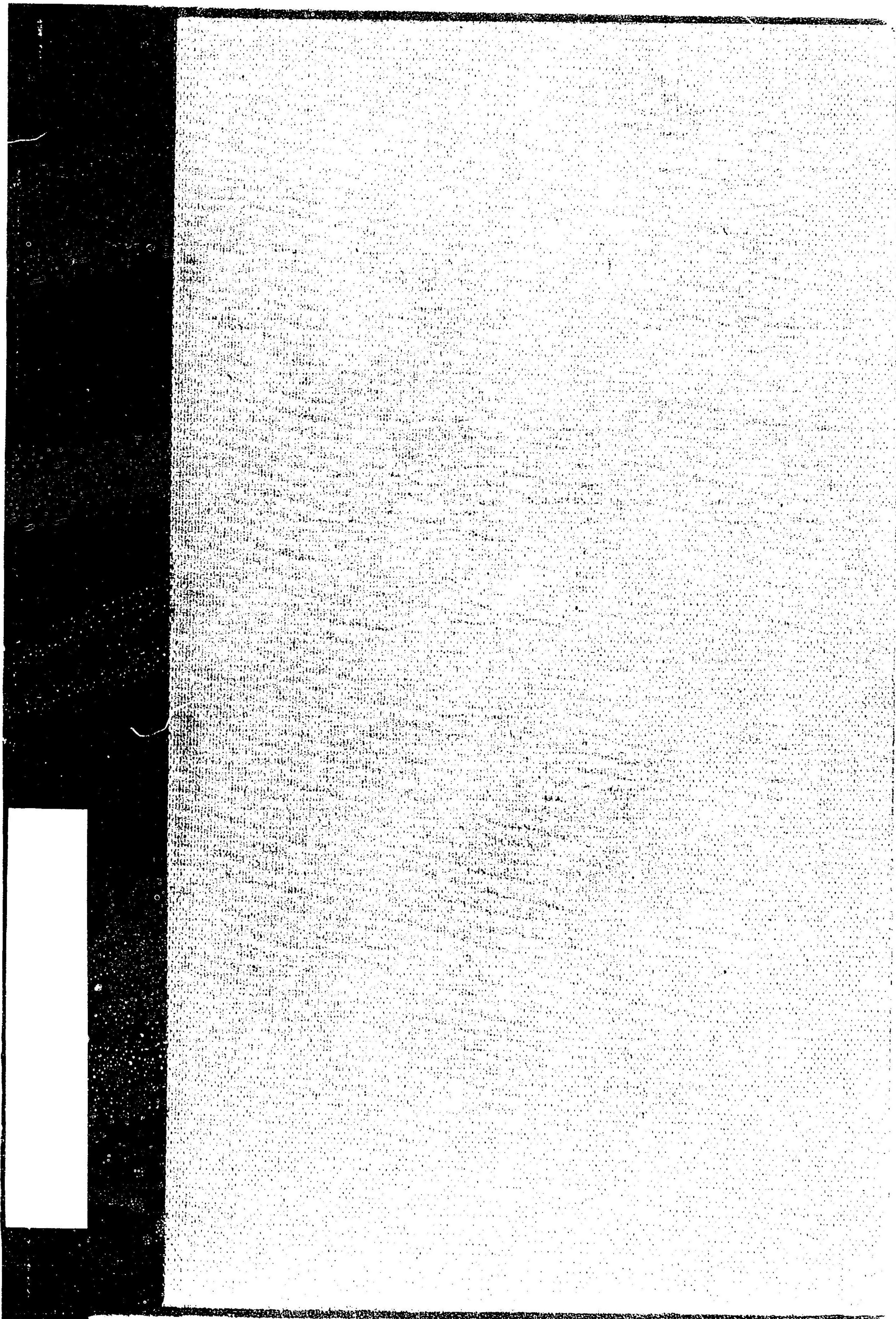


Vertical text columns on the right side of the page, likely bleed-through from the reverse side. The text is extremely faint and illegible due to the quality of the scan.

Vertical text column in the middle of the page, also appearing to be bleed-through. The characters are difficult to discern.

Vertical text column at the bottom of the page, likely bleed-through. The text is too faint to read.







特29  
500

042208-000-2

特29-500

仏国百年祭万国大博覧会之記

宇賀 寿/訳

M23

BDI-1308

